

令和6年度第1回羽島市環境審議会 会議要旨

日 時	令和7年2月6日（金）午前10時から11時30分まで
場 所	羽島市役所 301会議室
出席者	<p><審議会委員> 9名 細野光章委員、豊吉隆治委員、番敏郎委員、井戸美子委員、 田内重三委員、野田富子委員、不破直子委員、青木きの委員、 南谷里奈委員</p> <p><事務局> 10名 松井市長、高橋生活環境部長、番生活環境課専門官、安田生活環境課長、 澁谷環境事業課長、諏訪環境プラント所長、小池環境事業課主幹兼課長補佐、 近藤生活環境課課長補佐、山田生活環境課環境対策係長、山木田生活環境課主査</p> <p><傍聴>傍聴者：なし</p>
内 容	<p>1. 開会 (資料確認)</p> <p>(出席委員数の報告) 委員12名中、9名の出席を得ており、羽島市環境審議会運営要綱第3条第3項の規定により会議が成立していることを報告した。</p> <p>(情報公開) 審議会は原則公開することとなっているため、会議要旨を後日、羽島市ホームページにおいて公開することを報告した。</p> <p>(傍聴者報告) 傍聴の希望がなかったことを報告した。</p> <p>2. 市長挨拶</p> <p>3. 報告 (1)「羽島市環境基本計画の進捗状況」について 事務局より資料に基づき説明</p> <p><質疑応答> 副会長： 事務局より進捗状況の説明を受けて、何か気づいたことがあれば意見をいただきたい。 委員： 下水道供用開始区域面積割合の目標値は達成できるのか。農業の担い手への農地集積率の目標値が達成できるのか。現状の課題と改善策を次年度検討いただければと思う。 事務局： 現状の課題と問題点の洗い出しを進めて、来年度の中間</p>

<p>内 容</p>	<p>見直しに向けて、改善策を検討していきたい。</p> <p>事務局： 下水道整備については、ある程度順調に進んでいる。 農業の担い手について、専業農家・第1種兼業農家はあまり減少していないが、第2種兼業農家は就農意欲が低く、農地の集約化等もうまくいかない状況である。市の北部に優良農地があり、担い手農家の活用と土地改良事業の検討を進めている。</p> <p>委 員： 市民一人当たりの都市公園面積について、人口減により目標値を達成したのか。それとも公園を作ったことによるものであれば、どういうものか。</p> <p>事務局： 都市公園面積は、区画整理内等に新たに都市公園を設置したことにより増えている。</p> <p>事務局： 市内の土地は市街化区域と市街化調整区域に分かれており、市街化区域内に都市計画決定を受けて作るものが都市公園である。市街化調整区域で公園を作ろうとすると地域提供等になる。令和9年4月にごみ処理施設がオープンすることにより、広場的なものができる。</p> <p>委 員： 絶滅危惧種であるイタセンパラの飼育を学校で行っていることについて、展示をしているのみか、パネル等何か事業を行っているのか。サポーター活動についても伺いたい。</p> <p>事務局： 学校では、子どもたちの作ったパネルが貼り付けてあったり、図書館ではDVDを再生したり、塗り絵をしたりしている。イタセンパラサポーターを募集し、木曾川沿いの密猟者の見回り活動やイタセンパラ勉強会への参加案内を行っている。イタセンパラ塾を毎年10月頃実施し、参加希望者に防災ステーションで県職員や国の委託業者による体験学習の機会を設けている。</p> <p>(2)「羽島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進捗状況」について 事務局より資料に基づき説明</p> <p><質疑応答></p> <p>副会長： 事務局より進捗状況の報告があったが、何か質問・意見等あれば、発言していただきたい。</p> <p>委 員： 自治会活動から要望したい。街路灯のLED化はすでにできているが、コミュニティセンターのLED化の助成をお願いしたい。</p> <p>委 員： 羽島市制施行70周年記念事業「みんなで取り組むぜ</p>
------------	---

ロカーボンシティはしまの実現」に携わり、子どもたちの豊かで自由な発想から、委員も未来について考えることができた。子どもたちが、羽島市をどうしたらよいかを真剣に考えてくれたことに触れ、よい事業であったと感じた。今後も子どもたちが羽島市の未来を考える機会を設けるのか。

事務局： 今回の応募時に作成した動画を教育委員会で活用し、毎年動画を授業で使って、環境学習に繋げていただきたい。

事務局： 各学校の授業の一環として取り組んでいただいたので、今後も続けていければよいが、各学校の授業内容が様々であるため、今後については、よい取り組みであったと思っているので、今回のことを検証し、教育委員会とも相談しながら進めていきたい。

委員： ごみについて、実績が上がっている数値を拝見した。5Rの取り組みの中で、ごみになるようなものを買わない、リデュースが進んでいるのか、自分のところから出るごみの分別を意識してするようになったのか、様々な要因があると思うが、今後どのような分野の取り組みが必要であるとイメージしているのか。

事務局： 令和3年10月からごみの有料化を始め、市民の方にごみの減量意識が伝わっていると思う。今後は、ごみの中に入っている紙類（雑がみ）の分別をすることで減らしていきたいと考えている。その他プラスチックの分別も更に取り組んでいきたい。

委員： 野菜の値段が高騰しているので、大根や白菜やキャベツの軸まで使っている。

委員： 地産の特産品を使ったレシピ作り動画を配信しているので、皆さん、ぜひ利用していただきたい。

雑がみ袋を自分で作ることを今初めて聞いたので、広めていただくとよいと思う。

委員： LINEのアプリについて、絵が出てくると目に留まりやすくてよい。雑がみは封筒や紙袋に入れて出せることを知ったので、もっと雑がみを出そうと思った。

委員： 雑がみはどのようなものが出せるのか。

事務局： ビニールコーティングしてあるもの、写真、カーボン紙、防水加工してあるものは出せない。手で破れるものは出せる。先日、各家庭に配布したチラシの中にも分類が書いてあるので、参考にして分類分別してリサイクル

に協力いただきたい。

委員： 環境基本計画と地球温暖化対策実行計画の中間見直しの段階に来ているので、今までの活動を総括し、次期以降どうするのか検討いただきたい。

事務局： 来年度が中間見直しの年度なので、課題や目標値に到達できなかった理由や改善する項目があれば、それを示し、中間年の締めくくり年度とする。

4. 閉会